

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立高島第五小学校

【生活科】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭で植物を育てたり、生き物を飼育したりする経験が少ない。 ・学習を通して生活科カードに自分で気付いたことや発見した事などを表現することが苦手な児童がいる。 ・他者の考えを聞きながら、さらに自分の考えを深めたり、新しい事柄を発見したりできる児童が少ない。 ・インタビュー活動など他者からの聞き取り活動が少ない。 ・はさみやのりなどの道具を正しく使えない児童が多い。 ・生き物や植物などへの興味、関心が高い。 ・タブレットを使い、生き物の観察や植物の成長記録を残すことができる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書く、話す（伝える）記録するなど（タブレットも含め）の表現力を養う。 ・感じたことや比べたこと、気付いたことを表す学習を、他の教科と連携しながら行っていく。 ・飼育方法や、育て方、道具の使い方など具体的に児童に伝え、多くの体験活動が必要である。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育や植物のお世話などや作ったり、遊んだり、触れたりする体験活動を多く設定する。 ・観察や活動を通して気付いたことを書けるように、観察する視点を明確に伝えたり、例（教員や児童の作品）を示すようにしたりし、児童が想像しやすいようにする。 ・班でのお店やさんや観察グループなどを設定し、児童が互いの考えを伝えたり、まとめたりできるように工夫する。班やグループでまとめた考えをタブレットを活用し（視覚的な写真の活用を含む）、発表することで互いの考えに気付く場を設定する。 ・めあてとふりかえりを大切にし、次時への学習意欲をもたせる。 ・タブレットや図書室の本、ゲストティチャー（支援員・ICS）を活用し、より具体的な飼育方法や用具の使い方、自然作品の遊び方を学ぶ。